

病と共に-18

認知症 ① 認知症検査

前々回では高齢に伴う「物忘れ」は認知症とは区別されると書きましたが、それでもあまりひどくなると認知症ではないかと心配になります。そこで認知症について少しく調べてみましたので紹介します。認知症は一般的には「青年期以降、記憶や言語、知覚、思考などに関する脳の機能低下により、日常生活に支障をきたすような状態」を指すといわれています。家族や自分も最近物忘れがひどい、認知症では？一度病院で診てもらおうと思った時の病院の窓口は精神科、脳神経内科、もの忘れ外来などです。今回はそこで最初に受ける認知症検査についてです。

○ 長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R) とミニメンタルステート検査 (MMSE)

我が国の認知症治療の第一人者とされる長谷川和夫氏は認知症診断の物差しとしての 11 項目の「長谷川式簡易知能評価スケール」(HDS) を 1974 年に公表し、1991 年には 9 項目に改訂 (HDS-R) されました。

1975 年にアメリカで開発されたミニメンタルステート検査 (MMSE) は HDS-R より検査項目を増やしており現在世界標準になっているようで我が国でも HDS-R と MMSE を合わせた検査 (表 1) が多くの病院で採用されているようです。

HDS-R 検査では 30 点満点で 20 点以下 MMSE では 30 点満点で 23 点以下で認知症の心配ありと評価されます。各項目の採点法は表右部に表示されています。

私が通院している J 病院では両検査に以下の両手を使ったリズム体操のような二つの検査も追加しています。

16 右手をグーで前を突き左手はパーにして胸に当てる。次に手を変えて、これを 1, 2, 1, 2 と続ける。

17 試験官が両手で 1 拍すると 2 拍し、2 拍すると 1 拍する。次に、試験官が 1 拍すると 2 拍し、2 拍する時は、手を叩かない。これを何回か続ける。

○ その他の認知症検査法

認知症の重症度を認知機能だけでなく広く社会活動、趣味、介護状況等も含めて判定する 1982 年に Hughse らが開発した臨床認知症評価尺度 (CDR) は国際的に活用されているとのこと。2002 年に Borson が報告した Mini-cog 法は三つの言葉の記憶再生と時計を書く簡単な検査

ですが、意外に精度は高いそうです。我が国では 2022 年から 75 歳以上の免許更新には高齢者認知機能検査が実施されているのは運転している人にとってはお馴染みの通りです。

○ 認知症の機器検査法

認知症の検査には上記の問診に加え、脳の状態を調べる機器による検査、CT か MRI の画像検査が実施されます。更に脳の血流量や代謝を調べる SPECT や PET 検査も必要に応じ追加されます。

(松下)

表 1 HDS-R と MMSE の共通シート

	質問内容	HDS-R	MMSE
1	お歳はおいくつですか？ (2年までの誤差は正解)	0 1	
2	今日は何年ですか？ (年)	0 1	0 1
	いまの季節はなんですか？ (月)	0 1	0 1
	今日は何月ですか？ (日)	0 1	0 1
	今日は何日ですか？ (曜日)	0 1	0 1
	今日は何曜日ですか？	0 1	0 1
3	ここはどこですか？ (自覚的 2点, 5秒おいて, 家ですか? 病院? 施設? 1点)	0 1 2	
	ここは都道府県で言うところですか？ (都道府県)		0 1
	ここは何市ですか？ (市)		0 1
	ここは何町ですか？ (町)		0 1
	ここは何番ですか？ (番)		0 1
4	これから言う3つの言葉を覚えてみてください。あとでまたお聞きしますのでよく覚えておいてください。	0 1	0 1
	(以下の系列のいずれか1つで、使用した系列に○印をつけておく)	0 1	0 1
	1: a) 梨 b) 梨 c) 電車 2: a) 橋 b) 犬 c) 自動車 3: 梨 梨 梨	0 1	0 1
	* 100から順に7を引く(5回まで) 93, 86, 79, 72, 65 (*正答1個に1点)	0 1	0 1 2
	* 富士山の形をフジノヤマと書いていますが、フ・ジ・ノ・ヤ・マを並べて書いてください。	0 1	3 4 5
5	私がこれから言う数字を逆に書いてください。(例: 6-8-2, 3-5-2-9)	0 1	
6	3桁逆順に失敗したら打ち切り。	0 1	
7	先ほど覚えてもらった言葉をもう一度書いてみてください。(自覚的に回答が)	a) : 0 1 2	0 1
	あれば各2点, もし回答がない場合以下のヒントを与え正解であれば1点)	b) : 0 1 2	0 1
	a) 植物 b) 動物 c) 乗り物	c) : 0 1 2	0 1
8	これから5つの品物を見せます。それを覚えますのでなにかあったか書いてください。	0 1 2	
	(時計, 歯ブラシ, スプーン, 箸, 鉛筆など必ず相互に無関係なもの)	3 4 5	
9	知っている野菜の名前をできるだけ多く書いてください。	0 1 2	
	(答えた野菜の名前を右欄に記入する) (途中で詰まり、約10秒経ってもでない場合にはそこで打ち切る)	3 4 5	
10	(時計を見せながら) これは何ですか？ (各1点)		0 1
	(鉛筆を見せながら) これは何ですか？ (合計2点)		0 1
11	文章反復「みんなで力を合わせて綱を引きます」(1回のみで評価する)		0 1
12	(3段階の命令) 「右手にこの紙を持ってください」		0 1 2 3
	「それを半分に折りたたんでください」		
	「机の上に置いてください」(各段階毎に1点)		
13	(次の文章を読んで、その指示に従ってください)「目を閉じて下さい」		0 1
14	文章を書いてください(自覚的で、意味のあるもので筆跡だけはだめ)		0 1
15	(次の図形を書いてください)		0 1
			
合計得点		点 / 30	点 / 30